

平成27年度 第1回大阪府子ども施策審議会子どもの貧困対策部会 意見整理

委員意見・感想	発言委員(敬称略)		対応	担当課・関係課
①支援機関の調査に地域コミュニティやNPO法人、児童館などを対象に入れないのか。	村井	吉田	支援機関の調査対象への追加を検討します。	
②支援機関の調査の就学前の調査対象に保健所を対象に入れるべきではないか。	吉田		〃	
③支援制度が実際に役立っているのか、施策の効果について調査してほしい。	鉄崎		今回の調査においては生活実態やニーズの把握を行い、必要な対策について検討します。	
④三度の食事がとれていない子どもがいるため食に関する項目を入れてはどうか。	鉄崎		調査項目への追加を検討いたします。	
⑤回収率50%は高めに見過ぎではないか。社会福祉の様々な調査は30%程度。	山野	嵯峨 所	子ども・保護者への調査については、無作為抽出での調査に加え、市町村の協力による悉皆調査により万遍なく情報が収集できるよう工夫します。	
⑥子ども及び保護者への調査について、困窮家庭の返送率が低くなるのではないか。家庭に督促をするなど仕組みが必要ではないか。	所	嵯峨	子ども・保護者への調査については、無作為抽出での調査に加え、市町村の協力による悉皆調査により万遍なく情報が収集できるよう工夫します。	
⑦子ども及び保護者への調査について、「何がないのか」「何が奪われているのか」、学習机、自転車がないなど、聞いた方がいいのではないか。	嵯峨		調査項目への追加を検討します	
⑧物が無い状態だけでなく、困窮状態が子どもの健康状態(不眠や頭痛など)に影響を与えているか聞いてはどうか。	嵯峨	鉄崎	調査項目への追加を検討します	
⑨社会保障給付などの基本的な項目も必要ではないか。	嵯峨	鉄崎	調査項目への追加を検討します	
⑩調査で大阪府の子どもの貧困率やそれに代わるものを示すのか。	山野	所	検討途中	
⑪子どもの貧困を定義しないのか ※イギリスの場合、(i)経済的な貧困、(ii)本人の学力や支出能力、その他ヒューマンキャピタル的なこと、(iii)周りとの関係性	所		物的資源、ソーシャルキャピタル、ヒューマンキャピタルの3つについて、仮説を立て調査を行います。	

⑫家計の収入以外に子どものお小遣いについて聞くべきではないか。	所	嵯峨	調査項目への追加を検討します。	
⑬ひとり親家庭を対象にするなど、ターゲットを絞らないのか。	村井		子ども及び保護者への調査については、ターゲットを絞らず、支援機関への調査において貧困の課題把握に努めてまいります。	
⑭調査のやり方では平均しか見えてこないこともあるので留意してほしい。	村井		子ども・保護者への調査については、無作為抽出での調査に加え、市町村の協力による悉皆調査により万遍なく情報が収集できるよう工夫します。	
⑮剥奪指標を盛り込むべきではないか、格差を図るということに注目すべき。	山野	所	調査項目への追加を検討します。	
⑯医療機関への受診状況を聞くべきではないか。	嵯峨		調査項目への追加を検討します。	
⑰高校生やそれ以上の方に調査を実施しないのか	吉田		支援機関への調査において、実態把握に努めます。	
⑱施設退所児童のアフターケアの状況について把握しているのか。	山野		支援機関への調査において、実態把握に努めます。	
⑲SSWの事例集などの活用をしてはどうか。	山野		検討途中	
⑳事例の収集について、回答を取りまとめる予定か。	所		検討途中	